

# 町政執行方針

3月定例議会で小林宣夫町長が示した、令和6年度の町政執行方針の概要をお伝えします。

現在進めようとしているまちづくりの方針及び令和6年度の予算編成に当たっての基本的な考え方について、第6次総合計画の分野目標ごとに説明します。

## カーボンニュートラルの推進

脱炭素社会の実現を目指し、公共施設における再生可能エネルギー設備導入に向けた調査を行います。

## 健やかでやさしい健康・福祉のまち

子どもの育ちを社会全体で支え、安心して子育てができる環境を整備するため、これを総合的かつ計画的に推進するための指針となる「茨城町第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

子育てや少子化に迅速かつ効率的に対応するため、本年4月より現在の子ども課を本庁舎から町総合福祉センター「ゆうゆう館」に移し、子ども課内に「こども家庭センター」を新たに設置します。センターでは、妊娠から子育てに係る支援等、子育て及び少子化に関わる相談業務、虐待や貧困などの相談に係る業務を一体的に進めていきます。地域福祉の推進については、すべての町民がともに支え合い、誰もが住み慣れた町で安心して暮らすことができる地域づくりを目指し、「茨城町第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定していきます。

## 快適で安全・安心な生活環境のまち

清潔で魅力ある快適な生活環境づくりを推進するため、総合的な環境保全対策及びごみ処理等環境衛生対策を推進していきます。その一環として、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、公共施設にお

ける太陽光発電設備導入について調査を行うとともに、再生可能エネルギーの活用を行うべく施策について検討していきます。

また、茨城地方広域環境事務組合が管理運営を行っている、し尿処理施設の老朽化に伴う新広域し尿処理施設整備の事業主体として、本年4月1日に茨城町と笠間市の1市1町を構成団体とした「茨城県央環境衛生組合」を設立し、処理過程において発生する残滓の資源活用を目指しながら環境に配慮した施設整備を進めます。

防災対策については、災害に強い安全・安心なまちづくりを進めるため、地域防災力の更なる強化に向けた総合的な防災体制の確立を図ります。地域防災の要となる自主防災組織の活動支援に努めるとともに、地域住民の防災意識の向上を図るため、防災訓練や研修会への参加を促していきます。

そのほか、社会環境の変化に対応した交通安全対策、防犯対策、消費者対策などを推進し、町民の安全・安心な生活環境づくりに努めます。

## 次代を担う人を育む教育・文化のまち

子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、学校給食については、従来から食材費の物価高騰分を公費で負担し、支援を行ってききましたが、更

に本年4月からは町内の中学校に在籍する生徒の学校給食費を無償化し、子育て支援と教育環境の充実に努めます。

また、児童生徒がこれからの時代を生き抜くために必要な資質・能力を育むため、一人一台端末や電子黒板等の利活用を推進し、更なる効果が得られるようICT教育の充実を図ります。

これまで行ってきたブックスタート事業に加えて、本を通して家族のコミュニケーションの増進を図るため、茨城県内では初めての取り組みとなる、1歳6か月児健診の受診者を対象として、オリジナルの絵本を配布するセカンドブック事業を新たに実施します。

町民の文化・芸術の振興及び地域交流の拠点となる「新たな文化的施設」の整備については、令和3年8月に策定した「基本構想」に基づき、2か年の継続事業として令和6年度から建設工事に着手して、円滑な進捗に努めます。

今後は、これまでの検討の結果に加え、ワークショップを通して提案された参加者からの意見等を参考にし、施設の管理及び運営についての具体的指針として策定された管理運営計画をもとに、開館に向けた準備を進めます。

## 活力と交流あふれる元気産業のまち

本町の基幹産業である農業については、今後ともまちづくりの重要施策として位置づけながら、持続可能で生産性の高い農業を目指していきます。

観光振興については、涸沼自然公園において、来園者の利便性・安全性などの向上を図るため、傷んだ施設内の木道補修工事を行うとともに、駐車場の舗装整備に向けた測量調査・設計等を実施していきます。

今後とも、涸沼自然公園魅力アップ計画に基づき、本町の観光・交流の拠点として、人が集う魅力ある公園づくりに努めます。

環境省が設置主体となって整備する水鳥・湿地センターについては、引き続き国と緊密に連携を図りながら、令和6年秋頃のオープンに向けて準備を進めていきます。

## 未来への生活基盤が整ったまち

町道の整備については、新たなアクセス道路として整備計画を進めてきた小鶴地内町道209号線について令和6年度に用地測量を行い、事業推進に努めるとともに、長岡地内町道1029号線の道路改良工事や、同地区内の町道1091号線の道路排水整備工事について、早期の供用開始を目指し、引き続き推進を図っていきます。

## 学校給食費物価高騰対策

学校給食の賄材料費について、物価高騰による増加分を公費で負担し、学校給食費を改定せずに子育て世帯の負担軽減を図ります。

## 文化的施設の整備



文化・芸術の振興及び地域交流の拠点となる文化的施設の整備に向け、令和6年度は建設工事を進めます。

## 農地集積・集約化の推進

農地の大区画化や排水改良を実施し、担い手農家への農地集積・集約化や耕作放棄地の解消・発生防止を推進します。



## 中学生の学校給食費無償化

教育費の負担が増えていく中学生のいる世帯を対象に、学校給食費を無償化します。



## ブックスタート・セカンドブックの推進

乳幼児が本と親しむ機会を作るブックスタート事業に加え、令和6年度から1歳6か月児健診の受診者を対象として、オリジナル絵本を配布するセカンドブック事業を開始します。

## 観光施設の魅力強化

涸沼自然公園魅力アップ計画に基づき、既存駐車場の舗装整備に向け、測量調査等を進めます。また、老朽化している園内木道の修繕を行います。

